

令和4年度、第165回日本獣医学会学術集会 日本獣医薬理学・毒性学会拡大評議員会議事録

日時：2022年9月7日（水）11：10～12：00

場所 Web会議（Zoom）、議長：池田、書記：福山

出席者（敬称略、順不同）：室井、中村、乙黒、江口、石塚、山脇、岡田、鎌田、佐藤、前原、堀、三原、村田、田島、佐々木、臼井、善本、福山、梶、山崎、山口、海野、松山、東、西村、中川、高橋、向田、佐藤、大濱、池田、園田、宇野

議題

1) 次期会長、副会長の選出について（含次期執行部の確認）

次期会長は、現会長の池田教員より東京大学の堀教員が推薦され、承認された。副会長は次期会長の堀教員より岐阜大学の海野教員が推薦され、承認された。事務局は麻布大学の福山、疾患名委員は日本大学の山崎教員が留任し、企画委員は1年交代のため、今後協議する事となった。

2) 日本獣医薬理学・毒性学会の留保金の使途について

これまでの経緯について説明があり、タスクフォース（委員長：麻布大学 福山）を中心に今年度中に留保金を150万円以上使用する方針が春季研究会に引き続いて確認された。

3) 日本獣医学会疾患名用語集第7次改定について

日本大学 山崎教員から、薬理・毒性教科書第2版に対応する用語集に疾患名および類語等を追加した最終案が9/7に学会員向けに送信された。9/12までにコメントを募集した後、最終版とする予定。獣医臨床薬理学は改訂済みである事が改めて確認された。

報告事項

1) 評議員会（9/8開催）

日本獣医学会の期末残高が約1.77億円であったこと、公益社団法人としては各年度の残高を減少させたい事、学会賞、越智賞、奨励賞が第165回日本獣医学会内で表彰され、薬理・毒性学会員からは北里大学の児玉教員が奨励賞を、酪農学園大学のグループがJVMS優秀論文賞を受賞したこと、今後の獣医学会学術集会として、第166回は東京農工大学、第167回は帯広畜産大学が主催校であること、日本獣医学会としては第3、4回の東アジア獣医学会の開催をCovid-19の終息状況に応じて進めて行くことなどが報告された。

2) 所属研究団体会長会議（9/9予定）：内容は以下の通り。

【プログラム委員会議題】

1. 第165回日本獣医学会学術集会（司宰機関：麻布大学）の概要報告
2. 各所属研究団体からの意見
3. 第166回日本獣医学会学術集会（司宰機関：東京農工大学）の予定および意見交換
4. その他

【所属研究団体会長会議】

1. 学術集会優秀発表彰の候補者推薦について
2. 2022-2023 年度事業計画について
3. 2022-2023 年度収支予算について
4. その他

3) 実習書の進捗状況

東京大学の堀教員より進捗状況が報告された。薬理学が堀教員、毒性学が石塚教員によって取り纏められており、現在までに原稿が集まって校正の段階である。今後、著者校正の後、2022 年の秋以降に印刷・発刊の予定となる。

4) 第 165 回日本獣医学会学術集会の開催状況

麻布大学の福山より開催状況が報告された。登録者数約 1400 名、総演題数 628 題（特別企画 94 題）で、参加登録費等をすべてオンライン決済（クレジット払い+銀行振り込み）にした。

5) 第 166 回日本獣医学会学術集会の準備状況（東京農工大学）

東京農工大学の佐々木教員より準備の進捗状況が報告された。大会長は渋谷教員（病理学）、会期は 2023 年 9 月 5 日～7 日、開催様式は ZOOM（confit）で、発表方法は今後検討、テーマは「地球を守る獣医学」、主催企画として中高生を対象とした企画、4 月～演題登録、5 月プログラム内容締め切り、6 月締め切りとの報告があった。

6) 第 5 回春季研究会の準備状況（日本大学）

日本大学の山崎および山口教員より進捗の報告があった。新設された毒性学研究室と共同開催予定で候補日程は 2023 年 1 月 21 日、2 月 18 日、3 月 11 日（いずれも土曜日）である。ZOOM による完全オンライン or ハイブリッドで、研究発表はリアルタイム、拡大評議員会、オンライン懇親会を含む予定である。

7) 各大学・各研究室の近況報告、新任教員の紹介

各大学より現況の報告があった。新任教員及び異動は以下の通り。

酪農学園大学 薬理：中村教員

岩手大学 薬理：前原教員

北里大学 薬理：児玉教員

東京大学 薬理：村田教員（放射線動物科学と兼任）

麻布大学 薬理：善本教員

日本大学 毒性：橋本教員

岡山理大 薬理：向田教員

8) その他

- 東京大学 村田教員より日本薬理学会との連携委員を岡山理科大学の向田教員に引き継いだ事の報告があった。
- 北海道大学 石塚教員より日本法獣医学会の紹介があった。
- 最後に池田会長から任期満了に伴う挨拶がなされた。